



再び^{じんるい}人類は月へ…その名も「アルテミス計画」

1969年7月20日にアポロ11号は人類史上初の月面着陸を成功させました。もう半世紀以上の前のことです。

アポロ11号の船長、ニール・アームストロングは「これは一人の人間にとって小さな一歩だが、人類にとっては偉大な躍進だ。」という名言を残しました。

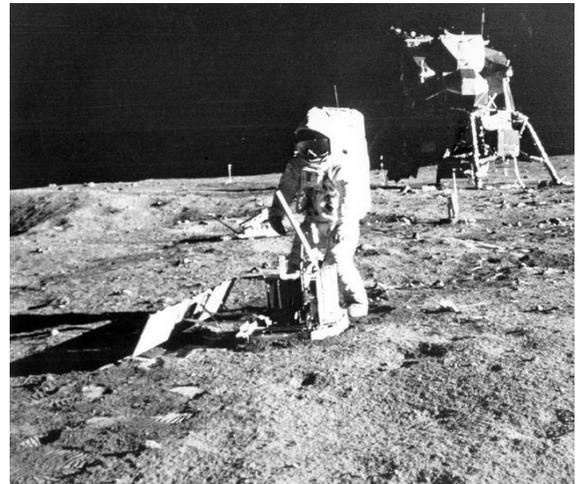
そして、2024年に再び月に人類を送る計画が進められています。その名も「アルテミス計画」です。

元々、アポロという言葉はギリシャ神話の太陽神「アポロン」が由来となっていて、今回のアルテミス

という言葉は、アポロンの双子の妹である月の女神「アルテミス」から名付けられています。この計画では、女性初の月面着陸も目標としているためピッタリな名前ですね!

月には水が存在することが期待されていて、その水を水素と酸素に分解して宇宙船の燃料に活用できると考えられています。将来的には月面に基地を作り、そこを中継地点として、2030年代までには人類の火星探査を目指しています。

私はアポロ11号の頃は生まれていませんでしたが、今回のアルテミス計画はリアルタイムで目に焼き付けたいと思います。



アポロ11号の月面での船外活動(提供:NASA)

(解説員:伊藤 貴大)